

第3回小中学生検討会（こどもモニター）活動報告

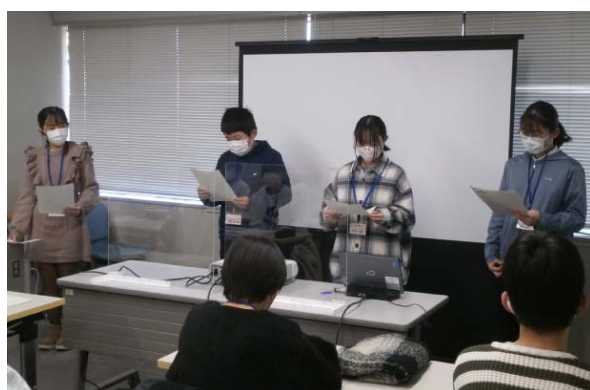
- 1 日時 令和4年1月16日（日） 9時～12時
- 2 場所 松戸市教育委員会 5階会議室 6階会議室
- 3 出席者 松戸市こどもモニター 小学6年生4名 中学2年生16名

第3回小中学生検討会活動の様子

1月16日（日）に、第3回小中学生検討会が行われました。その様子をご紹介します。

2月11日（金）に予定している「夢フォーラム」にて、一年間学んできたことを発表するために、小中学生が4つのグループに分かれて話し合いました。話し合いの中で「多様性」に関する理解を深めていきました。「標準服（制服）のあり方」について、標準服（制服）の必要性や着用場面、そして現状の標準服（制服）にある課題や問題点など様々な視点から話し合いが繰り広げられました。また、「性の多様性」という一つの視点から統一モデルと考えるのではなくて、経済的な要素、デザインや機能についてなど私たちが想像していた以上にしっかりと考えていることに感心しました。当日の話し合いをさらに深め、発表原稿にまとめ、2月11日に市長や教育長の前で発表する予定でした。新型コロナウイルス感染症の拡大防止におけるまん延防止等重点措置が適用されたことで、話し合い及び「夢フォーラム」が中止になってしまいましたが、現状でもとても深い内容の話ができたので今後につなげられる機会が設けられたらと考えています。

<1月16日 グループ（4つ）ごとのミニ発表会>



ミニ発表会での発表内容

- ・3つのキーワードを基に話し合いました。それは「ユニバーサルデザイン」、「SDGs」、「LGBT」です。松葉杖や車いすを利用している人や手を怪我している人にとっても着脱のしやすさなど配慮できる服を考えていきたいです。また、LGBTに関しては、個性を大切にし、時代に適した服としてスカートとズボン、リボンとネクタイなどを選択できるようにしていくと良いと思います。
- ・「持続可能な開発」、「ジェンダー平等」、「LGBT」をキーワードにして話し合いをしました。今の標準服（制服）の課題として、「洗にくい」、「動きにくい」、「種類が少ない」などがあげられます。解消していくために、例えばジャージにもなり得る動きやすい服なども良いと思います。その他のことについても今後、さらに深く話し合いを進めていきたいと思いました。
- ・「標準服（制服）の必要性」、「デザイン」をキーワードにして話し合いをしました。現時点の校則を守らない人がいる中で、標準服（制服）を自由にするのは問題があると考えます。これを機に校則から見直すべきです。その上で、標準服（制服）の必要性については、必要であると思います。なぜならば、学校とは、「社会性」を身に付ける場だからです。例えば医師が白衣を着ていることと同じ理由が言えます。また、統一感があるというメリットがあります。課題は、値段が高い、着にくい、気温の調節が難しいなどです。これらの課題の解決と多様性という観点からデザインを考えていけたらと思います。
- ・「多様性」をテーマに話し合いをしました。多様性とは、単純に少数の人達を思いやることではなく、一人ひとりの持つ意見を大事にし、全員が認め合うことが必要であることが分かりました。時には、便利にもなるけども逆に不便に感じることもあります。「多様性」と「自由」は必ずしも同じではない、ということもふまえて話を進めていきたいです。標準服（制服）については、LGBTQ+など性の多様性について含めて考えていきたいです。また、SDGsという視点からも考えていきます。耐久性を強くし、おさがりなどリユースできるものを提供することで経済的な負担の軽減をしていきたいと思います。他にも伝統や文化を尊重しつつ、松戸市ならではのアイデアがあっても良いと思います。現在の着用場面は主に、登下校時のみなので今後は、式典の日のみの標準服（制服）登校でも良いのでは、という考えも出ました。最後に、現行の標準服（制服）は学校ごとのモデルに差があるように感じます。生徒総会などで全校生徒にアンケートを取るなどして認め合う中で標準服（制服）について考えていきたいです。